

ロングメモリMSOによるモータ制御信号、駆動信号の観測

概要

DLM2000は、アナログ3chとロジック8bitの混在信号の測定が可能であり、制御信号、駆動信号を1台で観測、解析できます。また、最大250Mポイントのメモリを搭載できますので、メガHzの高速信号でも1秒以上の長周期が測定できます。ミリ秒以下のモータの起動から加減速、高速位置制御など、多点の高速信号測定を長時間測定可能です。

アプリケーションのポイント

- 最大250Mポイントのロングメモリによる、長時間測定
- アナログ信号、ロジック信号の混在入力による多点測定が可能

<観測信号例>

- ・制御回路のロジック信号
- ・回転方向制御信号
- ・PWM制御信号
- ・スイッチング波形（電圧/電流波形、電力波形、パワロス解析）



ミックストシグナルオシロスコープ
DLM2000

特長

- 高速信号を長時間測定可能な、250Mポイント大容量メモリ
最大250Mポイントのシングルモードで2ch測定時には、最大250Mポイントの大容量メモリ（メモリ拡張オプション/M3）を搭載できます。サンプルレート1.25GS/sで、最大0.2秒の波形が捕捉できます。
- ハイブリッドチャンネルによる多点測定（アナログ入力-ロジック入力切替チャンネル）
デジタル制御回路の動作を見るには、4chでは足りません。DLM2000シリーズは、CH4のアナログ入力をロジック8bitに切り替えて、アナログ3ch & ロジック8ビットのMSO（ミックストシグナルオシロスコープ）として機能します。



ロングメモリでもアナログ・ロジック混在信号を高速表示
モータ制御信号とスイッチング波形を同時に測定・解析が可能